

初心者から中級までの心エコー検査

～ちょっと上を目指しませんか!～

WEBセミナー

繰り返し視聴可能

専用テキスト

視聴後の質問可能

セミナー内容のご案内

セミナープランナー 鎌田 政博

近年、単心室などの複雑心奇形も含めて、先天性心疾患(CHD)の予後は大きく向上しました。CHDの発見から手術まで、そこには①何らかの異常を発見し、②診断(病名を付け)を付け、③治療・管理に直結する病態、④重症度・緊急性を評価し、⑤心臓血管外科医と手術の術式や時期について話し合うという、多くのプロセスが介在しています。そして、それぞれの局面で、新生児科医、小児科医のみならず、産科医や麻酔・集中治療医と、広範囲の職種が、関わっていかねばなりません。さらに近年、小児の心エコー検査が臨床検査部門に委ねられ始めており、今後その傾向は高まっていくでしょう。

小児の心エコー検査にはCHDに特有の解剖や生理学的な知識が必要です。小児循環器専門医を目指す医師はもちろん、この難しい領域に関わっていくと多くの医師・技師の方々を対象とし、「基本からかなりハイレベルな心エコー診断能力」を身につけられるように企画しました。理解しやすいように、多くの動画・イラストを挿入しています。これだけマスターできれば、あなたの診断能力は格段に向上しているはずですよ。

1回の講義ですべてを理解するのは難しいでしょう。レクチャーに使用したスライドで、テキストを作成しています。日常臨床の中で繰り返して見直し、しっかりした知識・技術を身につけましょう。レクチャー内容の概要を下に記載します。皆さんの診断能力向上を楽しみにしています。

講師

鎌田 政博 先生

たかの橋中央病院 小児循環器内科
(元 広島市立広島市民病院循環器小児科
主任部長)

中川 直美 先生

広島市立広島市民病院
循環器小児科 主任部長

受講料

■ 通常価格

¥15,950

テキスト代・消費税込み

■ 早割価格 2023年1月30日までに
お申し込みの場合

¥14,850

Step-Up応援割引

本セミナー開催日より1年前までにハンズオンスクールにご参加された方は ¥10,000 のご優待価格になります。

WEB受講

配信期間

2023年3月1日(水) ~ 3月22日(水)

■ テキスト【A4サイズ/フルカラー刷】

申込受付期限2月15日(水)まで

※本セミナーは、2022年2月24日~3月17日まで配信したセミナーの再配信です。

PROGRAM

こんなに役立つ心エコー検査前情報

成長する小児の心臓! その評価に必要な正常値や、心エコー検査前に知っておくべきCHD特有の心電図所見などについてお話しします。

これだけは知っておこう! 心エコーの基本

小児の特性に応じた機器設定を始め、心機能の評価、ドブラ法に基づいた狭窄前後の圧較差の求め方などについて解説します。

知らないと前に進めない! CHDの解剖

右房と左房、右室と左室、僧帽弁と三尖弁をどう区別する? 共通房室弁とはどんな弁? 完全大血管転位と修正大血管転位はどう違う? ファロ一四徴と両大血管右室起始、完全大血管転位の関係は? 左心低形成症候群は単心室? その他、疑問を解決しながら、雑心奇形を診断するPOINTを身につけましょう。

さあ、心エコーで診断してみよう! ~どのような順序で検査すれば見逃さないか?~

四腔断面で見つける心疾患

長軸断面で見つける心疾患

短軸断面で見つける心疾患

特殊断面で見つける心疾患

心雑音、チアノーゼなどを伴い、CHDが疑われる患者さんが受診・入院しました。さあどのような手順で診断を付ければ良いのでしょうか? それぞれの断面で何をみれば良いのでしょうか? ここでは複雑心奇形や緊急性を要する疾患の診断についてもお話しします。

頻度の高い疾患についてもっと詳しく!

心室中隔欠損

心房中隔欠損

動脈管開存

川崎病

頻度の高い代表的CHDについて、検査のキーポイントは何か? 見落としは避けたい合併症は、心エコーでどのように観察されるか? 心房中隔欠損のカテ治療に必要な心エコーのチェックポイントなど、少しハイレベルな点も含めて説明します。またご希望の多い川崎病についても解説します。

Q&A 本日のセミナーで学んだ内容について、Q&Aで復習し、ブースター効果を高めましょう。

お申込み&詳細情報は、下記URLより

アスリード株式会社

<https://us-lead.com/seminars/view/4474>